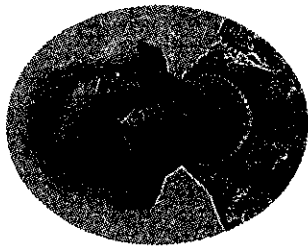


1995年度大学祭をお祝して



学長 吉田 時子

1995年度の大学祭が、開催の運びとなりましたことを、心からお祝い致します。

今年度から、学生会の主催するこの大学祭を「ときわ祭」と呼ぶことに決められ、今後、本学学生会で決定されたこの名称で大学祭が持たれる旨を伺い、ご同慶に存じます。

メインテーマを、魅惑、誘惑、湧惑とし、目標は、本学の人々の交流を深めるとともに、地域周辺施設や他校の人々との交りを作ることであるとのことをあげて、学生たちは、大いにその叡知とエネルギーを結集し、企画、準備に当られたことでありましょう。

多くの方々のご参加を期待するとともに、ご成功を祈るものであります。

この企画にご協力、ご支援下さいました方々に厚くお礼を申し上げます。

「ときわ祭」に向けて メッセージを送ろう

学生部長 前田 一雄

クリストファー看護大学名物は数々あるが、中でも天高く爽涼の秋に毎年開催される大学祭は、とりわけ評判が高まっている。今年平成七年にも華々しく、一方ではすっかり充実に足を踏みしめ、クリストファー看護大学の特色に彩られて、大方の期待を裏切らずに挙行される。しかしその名称が「平成七年度クリストファー看護大学祭」というのではいささか長すぎて、何遍も繰り返してキャッチアップしている舌が疲れてしまおうなので、学生会の組織の中で新しいアイデアがまともなプロにキーインすると「ときわ祭」という名前を呼ぶことに決まった。もっとうまくいかない。もしも仮に「ときわ祭」を漢字で表現するが、それに変換してはならない。これはまたとない深遠慮なのであって、よく眺めているうちに、「時和」は、現学長・学部長のお名前が含まれる二文字で構成されていることに気付くのである。しかもそれが漢字を使わず、ひらがなだということになり、この呼びやすい名称だと大学祭を宣伝するのが容易になる。

ではなぜ広報が必要なのか？これも理詰めの長い話になりそうであるが、看護という専門職の性格からして要するに、つねにあらゆる機会をとらえて奉仕の精神を涵養することが必須であるから、それには社会におけるすべての人々との触れ合いを高めて行くことが常時望まれるわけであって、したがって「ときわ祭」は大学内部だけで祝う閉鎖された祭りであってはならず、社会に向かって開かれた祝祭でなければならぬ。広く地域の皆様方のご参加を頂いて学生諸君との親密な交流を深めて頂きたいのであり、この意味から今年度の大学祭「ときわ祭」が開催されること、その性格は開かれた祝祭であること、聖隷学園ならびに聖隷サークルのみならず、市民の皆様のご参加をお待ちしていることを、広く一般にお知らせしなければならぬのである。これまでの各年の大学祭でも学外の方々のご参加があったし、イベントもその方向で運営されてきたように思うので、これは可能性の高い企画であり、開かれた大学祭「ときわ祭」にはぜひ本学外に多数の皆様のご参加を頂きたいものである。学生諸君の努力によってこの方々にしたがい地域の皆様との交流を深めて大きな成果が得られ、平成七年の「ときわ祭」が成功裡に終わるとともに、学生諸君には画期的な成長と前進がもたらされるよう、大々きな希望と期待を込めて巻頭言を贈る。